

平成27年度 練馬区立立野小学校 学校評価の報告

春暖の候、保護者、地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年末は学校評価のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この度、平成27年度の学校評価につきまして、学校関係者評価委員会を開催し評価結果の取りまとめを行いましたので、ご報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員会について

- (1) 開催日時 平成28年2月25日(木) 午前10時00分～午前11時30分
- (2) 開催場所 本校応接室
- (3) 評価の緒流れ

学校が、平成27年度練馬区立立野小学校経営計画に基づき、教員が自ら行った評価・保護者アンケート・児童アンケートの結果を考察し、改善策を策定する。

結果と考察、改善策について、学校関係者評価委員会で検討する。

2 評価結果の取りまとめについて

- (1) 学校関係者評価委員会での検討を経た評価結果の取りまとめを公表する。
- (2) 練馬区教育委員会に報告する。
- (3) 次年度の本校教育課程編成に生かす。

3 評価者等について

- (1) 教員
 - 実施時期 平成28年2月上旬実施(年間を通した評価)
 - 実施人数 17人(全学級担任・専科・養護教諭等)
 - 方法 質問紙法による
- (2) 保護者
 - 実施時期 平成27年12月中旬実施
 - 有効最多回答数 352人(在校児童の85.9%)
 - 項目によって有効回答数が少ない場合もあります。
 - 方法 質問紙法による
- (3) 児童
 - 実施時期 平成27年12月中旬実施
 - 実施人数 272人(3～6年生児童)
 - 方法 質問紙法による

4 評価項目について

評価は、4段階で行う。

- (1) 教員 4段階の評価基準にあてはめた回答
- (2) 保護者 4 = とてもそう思う 3 = そう思う 2 = あまりそう思わない 1 = そう思わない
- (3) 児童 4 = とても 3 = だいたい 2 = あまり 1 = ぜんぜん

5 根拠となる資料

(1) 評価項目別

評価者	評価項目 - 1	()内は 昨年度	評価結果
教員	相手を意識して、話を「よく聞く」ことができるように、学年・学級に応じた取組を行う。		3.00 (3.19)
保護者	話の聞き方をしっかり指導しながら授業に取り組んでいる。		3.34 (3.43)
児童	私たちがしっかり話を聞けるように、話の聞き方を教えてくれている。		3.60 (3.54)
考察	・学級指導や各学習の時間に、大切な学習規律として、「話をよく聞く」ことの指導に努めた。 ・毎週月曜日の全校朝会や音楽朝会、児童集会や避難訓練など、大勢が集まる際のルールとして、集まったらおしゃべりをしないことや、話をしている人の方に体を向けることを、全校で指導した。		
改善策等	・今後も、全校での集まりや学年での集団行動等において、「黙って集合する・話をよく聞く」ことは、立野小のルールであることを、児童に徹底させていく。 ・今後も、学年の発達段階に合わせた話の聞き方の指導を継続して行っていく。		

学校関係者評価

しっかり聞くということは、話の内容をしっかり理解するところまで求めたい。
 6年生を見ていると、高学年であるというプライドをあわせもって、話をよく聞いている。
 話を聞いてあげる人が大切。社会に出て、重要な要素だと思う。
 低学年の子供たちは、自分を認めてもらおうとする気持ちから、自分の周りの人を巻き込みながら、落ち着かない様子でいることがある。座り方や子供を惹き付ける授業の工夫が大切だと思う。

評価者	評価項目 - 2	()内は 昨年度	評価結果
教員	様々な表現方法を使って自分の考えを伝えられるように、学年・学級に応じた取組を行う。		3.00 (3.13)
保護者	授業の中に、自分の考えを文章に書いたり、友達と交流したりする時間を設け指導している。		3.43 (3.46)
児童	授業の中で、自分の考えを書いたり、友達と交流したりする時間を設けてくれている。		3.78 (3.82)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・研究教科の算数だけでなく、各教科の学習や活動など、学校生活を通して、児童相互の考えを交流する時間を大切に授業展開に努めた。 ・交流活動(話し合い活動)はいろいろな教科で取り入れることができた。また、自分の考えをノートにまとめ、書いたことを基にしてそれを交流活動につなげるなどの工夫をした。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の発達段階に応じ、児童が取り組みやすいように、話形を揃えたり、話の手順を示したりして、苦手意識を軽減し発表への意欲が高まるよう継続して指導していく。 ・交流のねらいや内容がよく分かる掲示物等の工夫に努める。 ・今後も、児童相互の学び合いを充実させるために、学習や活動の中に交流の時間を意識的に取り入れる。 		
学校関係者評価 自分の考えや気持ちを発表し合うという活動は、区の方針と合っていてとてもよいことである。自他の違いに気付いたり、人の意見を聞いて咀嚼したりして新たなものが生まれていく。子供の伸びる力を支えているものだと思う。			

評価者	評価項目 - 3	()内は 昨年度	評価結果
教員	授業の始めにめあてを示し、終わりに振り返りを行い次時の授業に生かす。		3.25 (3.00)
保護者	学習のめあてを児童に示して授業を行い、めあてに沿った評価を行っている。		3.35 (3.44)
児童	私たちがめあてをもって学習に取り組めるようにしてくれている。		3.77 (3.78)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は特に、算数の学習において、単元全体の学習計画を立て、めあてに沿った指導と評価、めあて達成のための指導・支援の工夫に努めた。 ・めあて・まとめを書くことによって、児童に一単位時間の学習の振り返りをさせることに努めた。 ・学習のめあては示しているが、振り返り(まとめ)については教科によって不十分なときがあった。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も、学年に応じ1時間の学習の始まりやまとめの仕方を工夫し、実践する。 ・板書の工夫によって、1時間の学習の全体が分かるようなまとめ方に努める。 ・学習のめあてを達成するために、継続して個別的指導や個に応じた対応の充実を図る。 ・来年度も、教科担任制や交換授業を継続し、めあてに沿った学習の充実を図る。 		
学校関係者評価 この改善策で進めて欲しい。			

評価者	評価項目 - 4	()内は 昨年度	評価結果
教員	挨拶と返事をする習慣を身に付けさせる。		3.18 (3.06)
保護者	児童が進んで挨拶をしたり、名前を呼ばれたらしっかり返事をするよう指導している。		3.44 (3.55)
児童	私たちが進んであいさつや返事をするように気をつけてくれている。		3.70 (3.75)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通し、学年ごとで実施した挨拶運動では、児童が分担して校門で他の児童を迎え、挨拶する体験をさせることで、挨拶の大切さや挨拶をした時のすがすがしさなどを実感できるよう努めた。 ・挨拶や返事をする習慣は概ね身に付いてきているが、様々な場面で進んで挨拶のできる児童にしていきたい。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、年間を通し、挨拶や返事をする習慣を身に付けさせる指導、援助を繰り返す。また、生活指導の目標として取組む等、常に児童に意識させるような工夫を継続して行う。 ・来客・来校者に対する挨拶も積極的に行うよう指導していく。 ・学習規律や集団行動での返事について引き続き指導していく。 ・来年度も、毎朝の出席状況報告活動を実施し、管理職による児童への挨拶、マナー指導を継続して行う。 		
学校関係者評価 防犯活動をしている中、子供たちからも挨拶してくれる場面が多い。以前ほどではないが、元気もあってなかなかいい方だと思う。先生方は、来校したきた人に、先生方の方から必ず挨拶してくれる(声をかけてくれる)ので、とても安心できる。区民館では、挨拶をしてから入館することを徹底しているが、高学年になると自分から挨拶できるようになっている。			

評価者	評価項目 - 5	()内は 昨年度	評価結果
教員	いじめの早期発見に向け、年3回の「学校生活アンケート」を実施し情報を学校全体で共有するとともに、組織的にその解決を図る。		3.86 (3.40)
保護者	児童が安心して学校生活を送れるように見守ってしてくれる。		3.49 (3.54)
児童	困ったことや心配なことがあると声をかけてくれたり、相談にのってくれる。		3.38 (3.36)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回のアンケートの結果から、児童間の人間関係や悩みを把握することができ、トラブルの芽をつむことができた。また、休み時間には子供たちと一緒に遊ぶなどの活動を通し、日常から、子供同士の人間関係などの把握に努めた。 ・専科教員も、担任と同じ歩調で目配りに努めた。 ・校内では、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、学校生活支援員と連携して児童理解に努めた。また、学校教育支援センターや子ども家庭支援センターなど、関係機関との情報交換を密に行った。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、児童間の人間関係や行動に対して目配りし、わずかなサインも見落とさないように児童理解に努める。 ・情報の把握と共有のために、年3回の学校生活アンケート実施後の指導を確実にし、未然防止・早期発見に努める。また、いじめや不登校等に関する研修を実施し、児童に対する観察力・理解力の向上を図る。 ・来年度も、校内の支援委員会での協議や、スクールカウンセラー・心のふれあい相談員・学校生活支援員と連携し情報交換を密に行い児童理解に努める。 		
学校関係者評価 担任の先生は子供たちの様子をよく把握しており、個人面談の中などで、子供の交友関係や生活ぶりをよく話してくださる。とてもありがたい。 地域も落ち着いており、地域の行事に参加する子供たちも多く、おとなしくていい子供たちという評価である。 転校していった家庭からも、立野小のよさ(落ち着いた子供たちの様子)を実感したいという声を聞いている。			

評価者	評価項目 - 6	()内は 昨年度	評価結果
教員	読書月間だけでなく、年間を通じて読書活動を継続し、計画的に学校図書館を利用させる。		2.61 (3.08)
保護者	児童が進んで読書をしたり、学校図書館を利用したりするよう指導している。		3.23 (3.32)
児童	読書を勧めたり、学校図書館を利用しやすいようにしたりしてくれている。		3.37 (3.43)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べ、児童への働きかけが不十分だった。読書の量(冊数、ページ数)には個人差があるので、本に親しむように努めさせながら、読書活動を進めた。しかし、読書好きな児童とそうでない児童との差が大きく、指導の難しさを感じている。 ・本年度も、読書活動協力者を依頼し、図書室の整備・蔵書の整備・読書環境づくりを継続的に進め、学校図書館ボランティアの指導・援助を行い、図書室や学級文庫が整えられることができた。来年度も、同様に依頼して読書活動の充実を図りたい。 ・保護者の図書ボランティア「読みママ」活動や学校図書館ボランティアが定着している。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校の特色ある教育活動のひとつに、「読書活動の推進」を位置づけ、児童への啓発、体験活動を継続して行っていく。 ・学校全体で、読書が習慣化する活動を計画、実施する。 ・読書月間の充実を図り、多様な読書活動を体験させる。(読み聞かせ、ブックトークなど) ・保護者が主体となる学校図書館整備ボランティア活動の支援をしっかりと行う。 		
学校関係者評価 図書館ボランティアに参加しているが、今後も軌道にのせていきたい。 学級文庫について、家庭で不用になった本の寄贈をしていただき、充実させることもいいのではないかと。			

評価者	評価項目 - 7	()内は 昨年度	評価結果
教員	中休みは、全校児童を校庭に出し、様々な運動を経験させる。		3.58 (3.46)
保護者	児童が運動に親しむようにしてくれている。		3.40 (3.52)
児童	中休みは、外遊びができるように時間を確保してくれている。		3.71 (3.76)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通し、休み時間は外で遊ぶように指導・啓発を継続して行った。 ・なわ跳びや持久走など、具体的な目標がはっきりしている運動ほど、よく外に出て遊んでいる。 ・教員は、子供たちと一緒に遊んだり側で見守ったりして、児童を励ましていた。 ・体力・運動能力調査の結果から、投げる力の向上に力をいれ、休み時間の遊びの中に、投げる遊びを取り入れた。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、休み時間は外遊びの励行を継続して行う。 ・なわ跳び、持久走は体力づくりとして定着してきたので、今後、なわ跳びや持久走に加え、全校で取り組める体育的活動を工夫し取り入れて、児童の体力向上に努める。 		
学校関係者評価 放課後の「ひろば」や「校庭開放」では、指導員と子供たちが楽しんで遊んでいる。外遊びを通して、大人と子供が交流しているのがうれしい。			

評価者	評価項目 - 8	()内は 昨年度	評価結果
教員	学校・学年だよりは毎月発行し、学級だよりも毎月1回以上発行する。		3.13 (3.27)
保護者	学級だよりは発行し、児童の様子等を知らせている。		3.47 (3.63)
児童	学級だよりなどで、私たちの様子をおうちの人に知らせてくれている。		3.84 (3.78)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年だよりは毎月発行した。特に、学校だよりは、児童の学習、生活の活動場面を、写真資料などを使って紹介し、伝えることができた。また、ホームページの更新もこまめに行うことができた。 ・学級だよりの発行については、学級間に差があり、教員の自己評価にも差が現れた。発行回数の点だけでなく、内容を重視した便り等の作成に努める。 ・学校と家庭が連携、協力して教育にあたるために、学校生活や児童の様子を保護者に伝えることは重要である。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も、情報発信は、学校・学年・学級だより等の紙面とホームページの双方から発信していく。 ・保護者会・個人面談等では、児童の様子の伝え方を工夫し、質の高い情報交換が行えるように努める。 ・伝達が必要な情報については、来年度も、区学校連絡メールやホームページも活用し、迅速かつ確に伝える。 		
<p>学校関係者評価</p> <p>学校だよりはとても重要な情報なので、今後とも継続していただきたい。</p> <p>学年だより・学級だよりは学習の様子や進度などを理解するのにとても大切だと思う。無理はしなくていいが、保護者は楽しみにしているので、定期的に発行していただけるとありがたい。</p> <p>教員には、授業をしっかりと準備することや休み時間に子供たちと遊びながらいろいろ観察することを大切にさせたい。無理のない範囲で学級だよりの発行を行っていくが、ホームページも活用しながら情報を発信していきたい。今年度は、週に2～3回程度更新してきたのでそちらもご覧ください。</p>			

評価者	評価項目 - 9	()内は 昨年度	評価結果
教員	専門家や地域人材をゲストティーチャーとして招いたり保護者ボランティアに授業の協力を依頼したりする。		3.33 (3.18)
保護者	ゲストティーチャーや学習ボランティア(保護者を含む)等、外部の方と連携して教育を進めている。		3.21 (3.35)
児童	私たちの学習のために、ゲストティーチャーやボランティアの方を呼んでくれている。		3.69 (3.57)
考察	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の学習内容と時期に関連させて、計画的に外部への協力を依頼している。 ・ゲストティーチャー等の外部講師等による学習は、2～6年生で実施した。 ・保護者ボランティアについては、学年の学習内容によって依頼量に差はあるが、1・2年生では道具作成の補助や校外学習での安全管理など、様々な場面でご協力いただいた。学校だよりの3月号の中面で紹介する予定である。 		
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、児童の学習内容に関連した体験的学習を味わわせるよう努める。 ・保護者ボランティアについても、校外学習時での安全管理や子供たちの作業補助などご協力をいただく。 ・区の地域人材活用事業の計画・推進を、地域の皆様のご協力をいただきながら、平成29年度の発足に向けて進めていく。 		
<p>学校関係者評価</p> <p>今後も活用していただきたい。</p>			

(2) 保護者からの自由記述 (同内容のものはまとめてあります)

継続・発展を望む意見

児童の様子から	子供が毎日元気登校しているので安心しています。 子供がいつも楽しく学校に行くのが分かります。子供が明るく育っている。 充実した学校生活を送っています。子供たちは明るく挨拶できる子がたくさんいます。
学校の雰囲気 教職員の対応	子供たちのことをよく見てくださって、ありがとうございます。先生方が熱心で、子供たちと一緒に外で遊んでくださるので、子供もとても喜んでます。担任、養護教諭、教科担任の先生方の連携が非常によいと感謝しています。丁寧な指導や親身になって相談にのってくださること、柔軟に(すぐに)対応してくださるのがありがとうございます。
心の教育 人権教育	子供の多様性、他人を認めることへの理解が深まるとよいです。支援が必要な児童に対する支援を一層手厚くニーズに合ったものにしていただきたいので、どの子供にも気持ちよく過ごせる環境作りをよろしくお願いいたします。
学 習	子供たちのやる気を引き出すような指導をしてくださるのがありがとうございます。子供が前向きに挑戦するようになりました。子供たち一人一人が自分らしく自分の手法で発表・発信できるようになって欲しいです。今後も、取り組んでいただきたいです。朝の読書タイムがよかったので、これからも継続をお願いします。
学校行事	地域と学校が教育活動を絡めた行事を行っていて、交流が深まっていると感じています。
<p>本校の教育活動をいつも支えていただき、ありがとうございます。また、教職員への励ましの言葉も多数いただきました。今後も、子供と共に過ごす時間を大切に、「よく分かる授業」「充実した授業」に努め、一人一人の個性やよさを大切にする教育を続けていきたいと思えます。また、「豊かな心とつよい体」を育てるために、道徳教育やたてわり活動、体育的活動などに、より一層力を入れていきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。</p>	

改善を望む意見・質問

	ご意見・ご質問	学校からの回答
学 習	1年生の時から、英語に触れる機会があればいいと思います。(ネイティブの先生の授業や国際交流のようなもの)	5・6年生は週に1時間、外国語活動の学習があります。今年度はネイティブのALTがT2として各学級に年間18時間入りました。1～4年生は1、2時間ずつですが交流する時間を設けました。来年度は5・6年生が年間35時間となります。1～4年生の外国語活動についても、年間数時間程度、ネイティブのALTと英語に触れる機会を設けられるよう計画いたします。
学 習	宿題(家庭学習)について ・上手に出されています。 ・クラスによって量が違うのですが。 ・日記はまだ早いような気がするのですが。	宿題(家庭学習)には、学校で学んだことの復習や漢字・計算などの反復練習、日記等の作文、自分で計画を立てて主体的に行う自主学習など様々なものがあります。一定の時間、机に向かい家庭で学習する習慣を身に付けることもねらいの一つです。したがって、宿題の量は学年間では当然違ってきますが、学年内では同量程度となるよう担任間で打ち合わせ、学年内で統一するものや学級独自のものを工夫して宿題とするよう努めます。
学級経営 生活指導	授業中にふざけている児童には今以上に注意してほしいと思います。	子供たちがしっかり学ぶためには、学習規律がとても大切です。授業の始まる時刻には着席し、その学習の用意ができていて、授業に集中して臨むことができます。1単位時間の学習では、集中して聴くところ・リラックスするところ・子供同士での交流(話し合い活動)・考えるところなど、様々な場面を通して学んでいきます。学年の発達段階や学級の実態を考慮しながら、学習規律をしっかり身に付けさせ、学習に集中させるよう努めていきます。
「よみママ」活動	「よみママ」の高学年は、読み手のお母さんが少なくご苦労されているようです。高学年は読書の時間にするか、先生が読むなどの方法ではどうでしょうか。	長年続いている「よみママ」活動は本校の大切な特色の一つで、子供たちの読書活動をサポートしていただいているものです。保護者の皆様が運営を担っていらっしゃると思いますが、活動の実際について、学校も「よみママ」の皆様とよく相談し、支えてくださっている保護者の皆様が過度の負担にならないよう協力してまいりたいと思います。今後とも、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
アンケート	無記名式にするべき内容だと思います。(特に、学校の取り組みについて)	アンケート提出に関しては、昨年度から昇降口の回収ボックスに入れる方法に変更いたしました。記名に関して、お書きいただいた内容によっては、学校からさらに詳しくお話を伺わせていただいたり、お返事したりする場合がありますので、お書きいただけるとありがたいです。子供たちの健やかな成長のために、保護者の皆さんと学校は、双方向な関係でありたいと思いますので、アンケートには、遠慮せずにお書きください。

その他	1月と10月の土曜授業日は、直後の月曜がハッピーマンデーの祝日で、3連休となるどころができなかったのですが。	休日はお子さんとの時間を長く有意義に過ごそうとお考えは、子供の健やかな成長にとって大切なことと捉えています。一方、土曜授業日については、区の施策として第2土曜日を指定して年に8回実施されました。来年度も2月を除く年間7回実施いたします。1月にもお知らせいたしました。4月当初に学校の年間行事予定表を配布いたします。お休みの計画の参考にいただければ幸いです。
	朝の通学班をつかって登校させてほしいのですが。	本校では、登校班という形で実施いたしておりませんが、ご家庭の地域ごとに「校外班」を編制して、いざというときのための集団下校の体制を整えております。また、この地域班ごとに、夏休みの子ども会(お楽しみ会)をPTA校外委員の皆様が企画運営に携わっていらっしゃいます。集団での登校については、運営上、保護者の皆様にご負担をかけることが出てくると予想されます。日常から、登下校について交通安全を十分に指導して参ります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
	運動会の時、敬老席に身内がいる人はテント内に入りやすいですが、そうでない人は、テントに入りづらく子供の演技がよく見えない状態でした。	毎年、運動会には保護者の皆様とともに、保護者の近親の皆様や地域の皆様が大勢お越しいただき心から感謝申し上げます。子供たちの活躍する姿をご覧いただけることが、教職員の一番の喜びです。ご来校いただいた方が気持ちよく参観いただけるよう努めます。また、保護者の皆様にも参観時でのご協力をよろしくお願いいたします。
	先生方とのコミュニケーションがとりにくくなっているように感じます。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。日常は、子供たちが安心して楽しく安全に過ごせるよう、気を配っております。放課後等の時間を活用し、保護者の皆様との対応などに努めてまいります。
	先生と子供の間がフラットすぎて友達のような関係に見えるのが気になることがあります。	学校は、子供たちが社会生活の基本を学ぶところです。集団での生活をよりよく過ごすために学校生活全体を通して、人と接するときの態度や行動様式を、学年の発達段階に配慮しながら身に付けさせています。しかし、時として、場にふさわしくない言動があるかもしれません。お気づきになった時はどうぞ御遠慮なくご意見をいただければありがたいです。
	保護者会の時間をもう少し長くしてもらえるといいのですが。	学校・学級と保護者の皆様が、お子さんをはじめ学級の子供たちの健やかな成長を促すために、学習・生活の様子を情報交換し、共有するために保護者会を設けています。様々なご事情のある中をご出席いただき感謝しております。内容がお子さんに関係するような場合でも、ご遠慮なさらず担任までお声をかけていただければ、別の機会を設けております。よろしくお願いいたします。
今年度も、学校評価アンケートへのご協力をいただき誠にありがとうございました。今後もお子さんの学校生活に対するご心配やご相談など、お気軽にお声かけをいただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。		

<p>全体を通して</p> <p>本校の教育活動について、保護者の皆様には温かい励ましの評価をいただき、心より感謝申し上げます。本年度は、昨年度に比べ、どの項目も若干ではありますが、肯定的評価をいただきながらも、保護者の皆様のポイントが下がっていることを踏まえ、来年度の教育活動を一層充実させていかなければならないと受け止めております。これからも子供たちの健やかな成長を支援するよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>学校関係者評価委員の皆様からの自由意見</p> <p>SNSの問題について、便利さとともに外と簡単に繋がってしまう怖さを学校でも学ばせてほしい。</p> <p>情報モラルについて、力を入れることが必要である。</p> <p>SNS東京ルールが策定され、これを受けてSNS練馬区ルールが4月にできあがります。それを受け、本校でも「SNS立野ルール」を7月をめどに策定いたします。</p> <p>学区内にある、入りやすく見えにくい危険な場所には、近づかないよう十分に注意をしてほしい。</p>
--